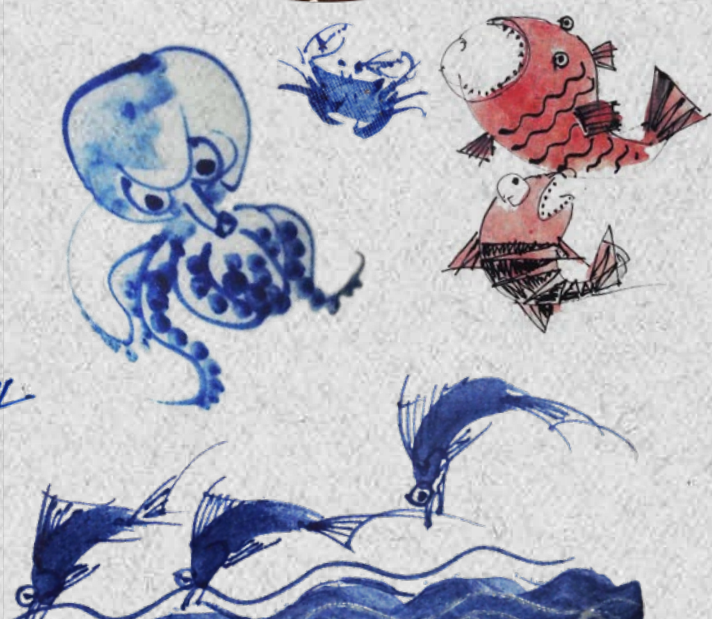


The Works of  
**MOTZOZOU  
YAMADA**

「山田元三の仕事」展

とこなめ陶の森 資料館・陶芸研究所





# 山田元三の仕事展

The Works of MOTOZOU YAMADA



撮影：伊藤光雪

山田元三（1919〜2017）は、常滑の窯元の六男として生まれました。父の初代清次郎は明治25年頃、焔清と呼ばれる窯屋を創業し、焔炉、真焼、食塩焼、火鉢などをつくっていました。

昭和10年に愛知県常滑陶器学校図案科を卒業後、国立京都陶磁器試験所第3部（デザイン科）の伝習生として入所し、故水野和三郎・日根野作三両氏に師事し、加飾技法の研さんに励みました。常滑に戻った翌年、兄の一雄が創業した「みやま焼製陶所」で父とともに家業に専念し、陶磁器の制作に従事します。

山田元三の仕事は、手描きによる染付技法を筆頭に、中国の風景や日本的な絵画、アニメチックなものや抽象的な絵画まで多岐にわたっています。自分の心に感じたものを素直に描いた食器や花器類といった普段使いの作品は今も多くの人に愛されています。

昭和54年に伝統工芸士（加飾部門）、平成6年には市指定無形文化財保持者にも認定され、後進の育成もおこなうなど業界の振興と発展に尽くしました。山田元三は生涯現役を貫く職人として、晩年も衰えることなく多くの作品を手掛けました。

（とこなめ陶の森 おくりやすひろ）



水鉢『夢・彩・彩』（杉江製陶株式会社蔵）



## 山田元三の絵付茶碗を使った呈茶会

日時 | 10・11月の日曜日 10:00 - 15:00  
 (10月6,13,20,27日/11月3,10,17,24日)

場所 | 陶芸研究所 呈茶代 | 300円



ティーセット (個人蔵)



みやぶ焼製陶所の陶磁器 (個人蔵)

## とこなめ陶の森 資料館・陶芸研究所



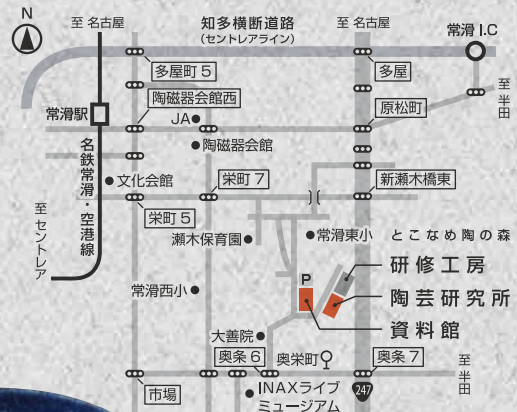
〈資料館〉〒479-0821 愛知県常滑市瀬木町4丁目203番地  
 〈陶芸研究所〉〒479-0822 愛知県常滑市奥条7丁目22番地

TEL 0569-34-5290 (資料館)

E-mail: [tounomori@city.tokoname.lg.jp](mailto:tounomori@city.tokoname.lg.jp)  
<http://www.tokoname-tounomori.jp>



パンダの衛生陶器 (個人蔵)



ネコの陶板 (個人蔵)



絵付けタイル (個人蔵)